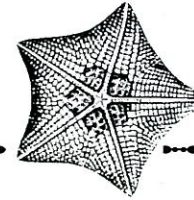


イトマキヒトデ

分類：有棘目 イトマキヒトデ科 (ヒトデ網)
 学名：*Asterina pectinifera*
 英名：

温帯から熱帯海域まで汎世界的に分布し、浅海の岩や磯の下面に生息する。通常5幅なるも4幅、6幅のものも稀ではない。イトマキヒトデの大きさを表すには手前の凹みから対岸の凹みまでを直径とする。体はほぼ五角形の糸巻形で、背面はゆるく隆起し、間幅部は低く凹む、腹面(口側)は偏平で黄褐色。背板はやや幅の広い三日月形を20~301粒状の小棘でおおわれる、網目状に配列し、その隙間から多くの皮鰓ができる。腹面に皮鰓はない。



ヒトデ

分類：又棘目 ヒトデ科 (ヒトデ網)
 学名：*Asterias amurans*
 英名：Common starfish

寒流性のヒトデで北太平洋から北海道・東北地方に多く、北方では10m以深のところに棲息するが、寒冷時紀州沿岸まで南岸することがある。5幅(腕の数が5ヶ)稀には6幅、幅径20cmを越える大形種もあるが、本邦産のものは10cm以下、腕は基部が太く先端は細い。背面は丸くふくらみ、腹面は偏平。盤はやや大形で縁近くに大きな穿孔体が1ヶ。背面は短く棘におおわれ、不規則に散在する。紫から藤色の斑点を有する。

